

長 崎 県 観 光 統 計

平成 2 3 年 (1 月 ~ 1 2 月)



長崎県 観光振興課

平成23年 長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成23年 1～12月）

28,025,026人（対前年3.7%減）

平成22年の29,100,913人^{（注）}と比べ、1,075,887人の減少

平成23年の長崎県の観光客延べ数は、東日本大震災の影響などにより、2,803万人（3.7%）となった。

日帰り客は、東日本大震災の影響によるイベントの自粛などに加え、大河ドラマ「龍馬伝」効果による反動減がみられたことなどから、1,819万人（4.9%）となった。

宿泊客は、東日本大震災による外国人観光客の減少が大きかったものの、修学旅行の増等により、国内宿泊客は増加したため、983万人（1.4%）となった。

〔表1〕観光客数比較

（単位：人、%）

	H21	H22	H23	対前年増減	対前年
観光客延べ数	28,249,099	29,100,913	28,025,026	1,075,887	3.7
日帰り客数	18,548,150	19,125,493	18,192,167	933,326	4.9
宿泊客延滞在数	9,700,949	9,975,420	9,832,859	142,561	1.4
外国人宿泊客延滞在数	525,133	721,348	502,245	219,103	30.4
日本人宿泊客延滞在数	9,175,816	9,254,072	9,330,614	76,542	0.8

（注）佐世保市において、平成23年から観光客数の算定方法が一部変更されているため平成22年の数値は、同じ方法により推計した再算定数値を用いている。

〔参考1〕平成22年数値

（単位：人）

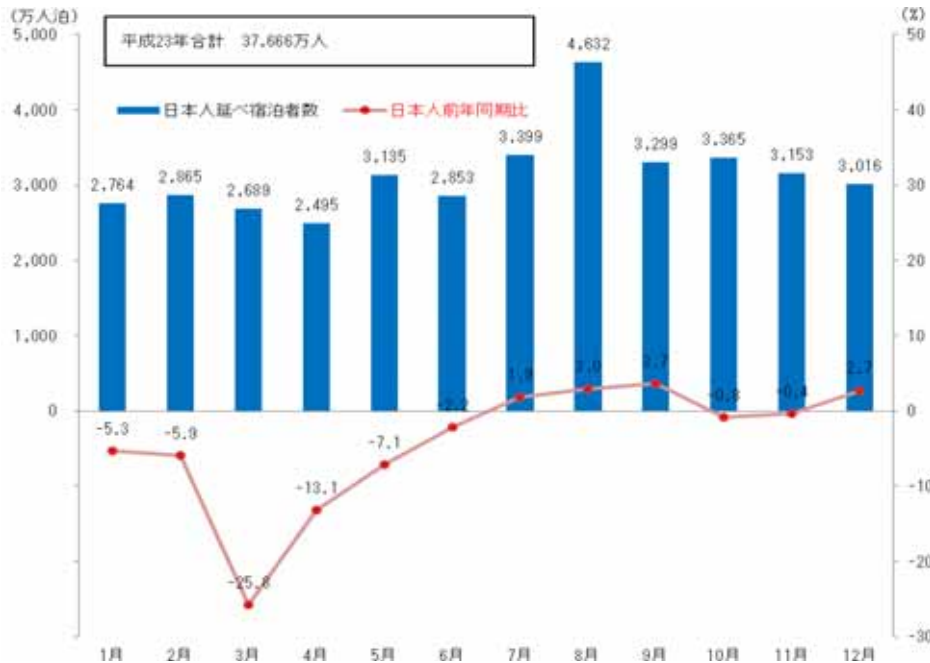
	昨年統計	再算定	増減
観光客延べ数	29,008,813	29,100,913	92,100
日帰り客数	19,033,393	19,125,493	92,100
宿泊客延滞在数	9,975,420	9,975,420	0

1. 観光を取り巻く全国の状況

(1) 国内宿泊観光旅行の動向

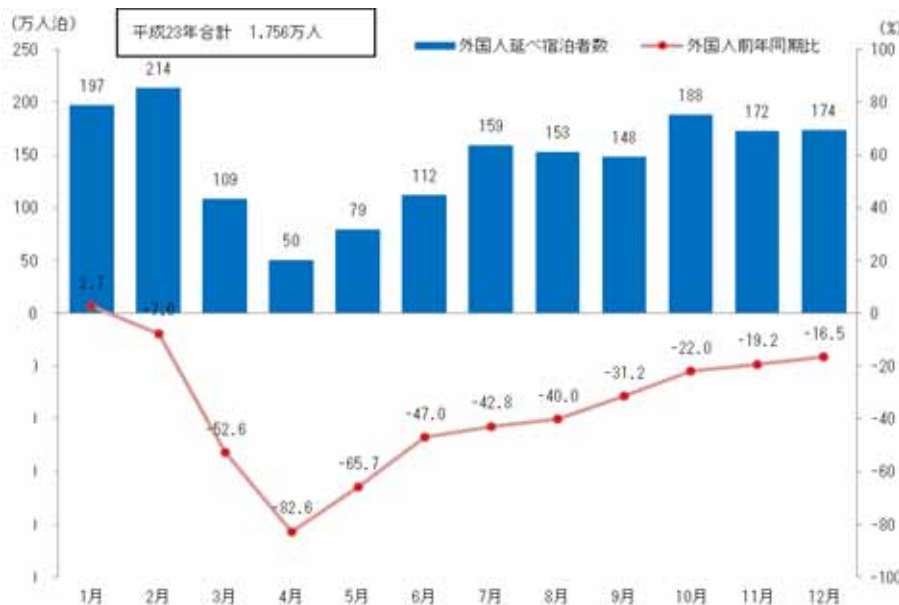
観光白書によると、平成23年の延べ宿泊者数は全体で3億9,422万人泊であり、このうち、日本人延べ宿泊者数は全体で3億7,666万人泊、外国人延べ宿泊者数は全体で1,756万人泊であった。外国人延べ宿泊者数は、前年比36.2%の減となり、3月以降は全ての月で大きく前年を下回った。

[参考2] 月別日本人延べ宿泊者数(平成23年)



- (注) 1 観光庁「宿泊旅行統計調査」による。
 2 前年同月比は、従業員数10人以上の宿泊施設の実績。
 3 年間の新設・廃業宿泊施設のデータを反映させる前の数値であり、確定値では若干の変更がある。
 4 平成22年4月～6月調査より、従業員数9人以下を含む全宿泊施設を調査対象としたことから、前回調査までのデータと単純に比較することはできない。

[参考3] 月別外国人延べ宿泊者数(平成23年)

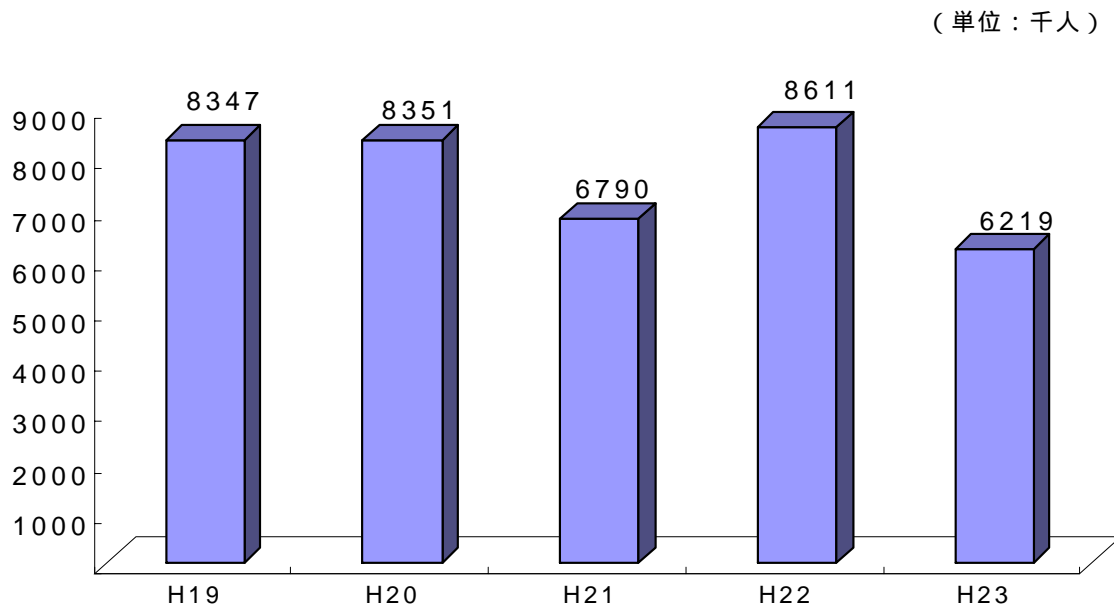


- (注) 1 観光庁「宿泊旅行統計調査」による。
 2 「外国人」とは、日本国内に住所を有しないものをいう。
 3 前年同月比は、従業員数10人以上の宿泊施設の実績。
 4 年間の新設・廃業施設のデータを反映させる前の数値であり、確定値では若干の変更がある。

(2) 訪日外国人の動向

日本政府観光局（JNTO）によると、平成23年（1～12月）の訪日外客数は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により、団体旅行、個人旅行ともにキャンセルが相次ぐなど訪日旅行を手控える動きがみられ、また、円高の進行により旅行地として日本を選択することに不利な状況が続いたため、対前年27.8%減の621万9千人となり、過去最高を記録した前年から大幅に減少した。

[参考4] 訪日外国人旅行者数の推移



注) 日本政府観光局（JNTO）資料より作成

2. 長崎県の観光動向

(1) 概況

平成23年は、東日本大震災の影響により観光を取り巻く状況が大きく変動した。震災発生直後、旅行を手控える動きがみられたため本県を訪れる国内外の観光客も大きく減少し、その後は修学旅行など国内観光客を中心に持ち直したものの、円高の影響による外国人観光客の回復の遅れや、前年放送された大河ドラマ「龍馬伝」効果の反動がみられたため、観光客延べ数は対前年3.7%減(1076千人)の28,025千人となった。

参考：長崎県観光動向調査の宿泊施設サンプル調査集約結果による分析

【第1四半期：平成23年1～3月】

年頭に発生した大寒波の影響により、一部地域において観光客の減少がみられたが、県全体では外国人観光客が景気回復により大幅増加したため、1月、2月においては前年を上回った。しかし、3月に発生した東日本大震災を機に、国内観光客、外国人観光客ともに旅行を手控える動きがみられた。更に、福島第一原子力発電所事故による風評被害が本県にも及び、外国人観光客が大幅に減少した。

【第2四半期：平成23年4～6月】

5月の大型連休以降から、国内観光客を中心に本県を訪れる観光客に回復の兆しがみえはじめ、さらに震災発生に伴う修学旅行の行き先変更により長崎県を選択する学校が増加するなど要因が重なり、9月まで前年を上回る月が続いた。外国人観光客は、国内観光客に比べ回復の動きが鈍かったものの、緩やかな回復傾向がみられた。

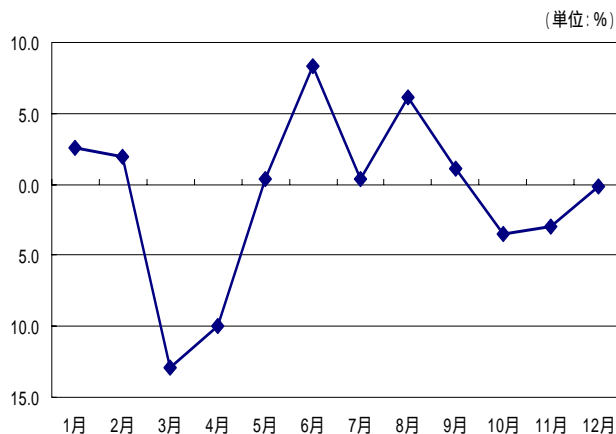
【第3四半期：平成23年7～9月】

8月は、五島市・新上五島町で「ウェルカムアイランドキャンペーン」が奏功したことや、「ASIA 女子バスケットボール選手権長崎/大村大会」が開催されたことに加え、9月に「平戸オランダ商館」が開館したこと、「来てみんな！長崎 食 KING 王国」のメインイベント「食 KING 王国 「ながさきオクトーバーフェスト」」が開催されたことなどから、7月～9月すべての月で前年を上回った。

【第4四半期：平成23年10～12月】

10月以降は、外国人観光客の回復傾向が顕著となり、11月は台湾、12月は中国が前年を上回った。国内観光客においてはクリスマス期間から年末にかけて「ハウステンボス」の入場者数が大幅に増加した。しかし、昨年放送された大河ドラマ「龍馬伝」による反動減の影響や、円高の影響を強く受けた韓国人観光客の回復が鈍化したことにより、前年を下回った。

[参考5] 月別宿泊客数増減率の推移



[参考6] 月別外国人宿泊客数増減率の推移

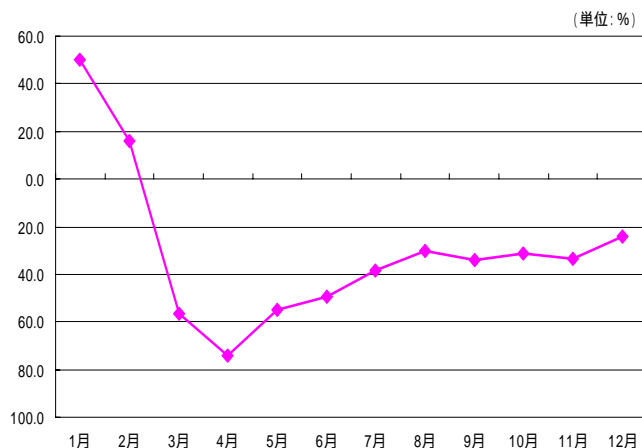


表2より、日帰り・宿泊別にみると、日帰り客数は、東日本大震災発生に伴う花見や、その他イベントの自粛に加え、大河ドラマ「龍馬伝」効果による反動減などが影響し、対前年4.9%減(933千人)となった。

宿泊客延滞在数は、東日本大震災発生後に予約取り消しの動きがみられ、特に外国人宿泊客を中心に減少したものの、修学旅行客を中心とした国内宿泊客が増加したことなどから、対前年1.4%減(143千人)にとどまった。

[表2] 日帰り客・宿泊客延滞在数比較 (単位:人)

	H21	H22	H23	対前年増減
日 帰 り 客 数	18,548,150	19,125,493	18,192,167	933,326
宿 泊 客 延 滞 在 数	9,700,949	9,975,420	9,832,859	142,561
外国人宿泊客延滞在数	525,133	721,348	502,245	219,103
日本人宿泊客延滞在数	9,175,816	9,254,072	9,330,614	76,542

(2) 観光客の推移

平成17年に長崎県美術館、長崎歴史文化博物館の開館、女神大橋の開通を機に増加に転じ、以後増加傾向が続いた。平成20年には、リーマンショックに端を発する世界的な経済情勢の悪化に加え、円高や新型インフルエンザにより外国人観光客が減少したものの、その後の回復基調に大河ドラマ「龍馬伝」の放送が追い風となり、平成21年、平成22年と増加傾向であった。しかし、平成23年の東日本大震災が大きく影響し、前年を下回った。

[表3] 観光客延べ数の推移 (単位:%)

年	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
前 年 比	0.2	2.4	4.4	2.4	0.0	1.7	1.4	0.9	2.7	3.7

[表4] 過去3年間の観光客数(詳細) (単位:人、%、泊)

	H21	構成比	H22	構成比	H23	構成比	増 減	対前年
観 光 客 延 べ 数	28,249,099	100.0	29,100,913	100.0	28,025,026	100.0	1,075,887	3.7
日 帰 り 客 数	18,548,150	65.7	19,125,493	65.7	18,192,167	64.9	933,326	4.9
宿 泊 客 延 滞 在 数	9,700,949	34.3	9,975,420	34.3	9,832,859	35.1	142,561	1.4
延 宿 泊 数	5,528,954		5,714,250		5,611,996		102,254	1.8
宿 泊 客 実 数	4,171,995		4,261,170		4,220,863		40,307	0.9
平 均 宿 泊 数	1.33		1.34		1.33		-	-
観 光 客 実 数	22,720,145		23,386,663		22,413,030		973,633	4.2

(3) 地域ブロック別動向

長崎・西彼ブロック(613万人、対前年 2.8% 179千人)

長崎市：東日本大震災の影響に伴い修学旅行先を振り替える動きがみられたため、修学旅行客が対前年11.8%増と大幅に増加したものの、震災及び円高の影響により外国人観光客が減少したこと、一部坂本龍馬関連施設において、大河ドラマ「龍馬伝」効果による反動減がみられたこと、長崎ランタンフェスティバルの集客が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年2.7%減(164千人)となった。

佐世保・西海・東彼・北松ブロック(791万人、対前年 1.3% 107千人)

佐世保市：光の王国など、人気イベントを展開したハウステンボスや、九十九島動植物園の集客増により観光客が増加したものの、東日本大震災の影響により外国人宿泊客が大きく減少したこと、西海パールシーリゾートの入館者数が減少したことから観光客延べ数は対前年1.2%減(66千人)となった。

西海市：主要観光施設の利用者数や、西海大鍋まつりの集客が大幅に増加したものの、宿泊施設の休業などにより宿泊客数が減少したため、観光客延べ数は対前年1.4%減(14千人)となった。

平戸・松浦ブロック(254万人、対前年 4.9% 131千人)

平戸市：平戸オランダ商館の開館に伴い、様々なイベントを展開したことにより観光客が増加したものの、東日本大震災の影響による前半の減少が大きく、観光客延べ数は対前年2.0%減(38千人)となった。

松浦市：宿泊施設のリニューアルオープンに伴い、宿泊客数は大幅に増加したものの、日帰りバスツアーの減少などから、日帰り客が伸び悩んだため、観光客延べ数は対前年12.4%減(93千人)となった

諫早・大村ブロック(334万人、対前年+2.1% +70千人)

諫早市：一部の屋外施設やイベントにおいて、天候不順の影響により観光客が減少したものの、ビジネス目的の宿泊客が増加したことや、日帰り観光客が増加したことから、観光客延べ数は対前年3.9%増(+88千人)となった。

大村市：ビジネス客を中心とした宿泊客数の増加に加え、「来てみんな！長崎 食 KING 王国」キャンペーンや「花菖蒲まつり・シュガーロード大村すいーつ祭り」など、食と観光のPRが奏功したことにより、観光客延べ数は3年連続で100万人を維持したものの、震災の影響により日帰り客が減少したため、対前年1.7%減(18千人)にとどまった。

島原半島ブロック(626万人、対前年 9.6% 666千人)

島原市：東日本大震災の影響による減少に加え、主要宿泊施設の閉館に伴う宿泊客数の減少により、観光客延べ数は対前年5.6%減(86千人)と減少した。

雲仙市：東日本震災の影響に加え、日本一長い足湯「ほっとふっと105」において、前年のオープン効果から反動による減少がみられたことや、悪天候の影響により仁田峠登山客数が減少したことから、日帰り客数が減少し、観光客延べ数は対前年12.9%減(512千人)となった。

南島原市：東日本大震災の影響により、前年と比べて団体宿泊客の減少がみられた。日帰り客は持ち直しの動きがみられたものの、震災による減少を補うまでには至らず、観光客延べ数は対前年4.8%減(68千人)となった。

五島ブロック(65万人、対前年+2.3% +15千人)

五島市：東日本大震災の影響は受けたものの、昨年中止された五島長崎国際トライアスロン大会が開催されたことや、ウェルカムアイランドキャンペーンによる観光客の増加、フェリー「万葉」の就航、「来てみんな!長崎 食 KING 王国」五島グルメフェアの開催などにより、観光客延べ数は対前年3.9%増(+15千人)と増加した。

新上五島町：ウェルカムアイランドキャンペーンや、蛤浜で遊ぼデーなど夏のイベントが奏功し、夏季シーズンを中心に観光客数が増加したため、観光客延べ数は対前年1.3%増(+3千人)と2年連続で増加した。

壱岐ブロック(55万人、対前年0.5% 3千人)

壱岐市：宿泊施設の改修工事による休業があり宿泊客数の減少がみられたものの、前年に中止された市内最大級のイベント「壱岐サイクルフェスティバル」が再開されたこと、ツアー客を中心とした宿泊客の増加がみられたことなどから、観光客延べ数は対前年0.5%減(3千人)と、ほぼ前年並みにとどまった。

対馬ブロック(66万人、対前年10.3% 75千人)

対馬市：東日本大震災発生後、対馬 釜山航路の一時休止に加え、円高ウォン安により韓国人観光客が大きく減少した。後半には、対馬 釜山間航路の新規参入により回復傾向がみられたものの、前半の減少が大きく観光客延べ数は対前年10.3%(75千人)となった。

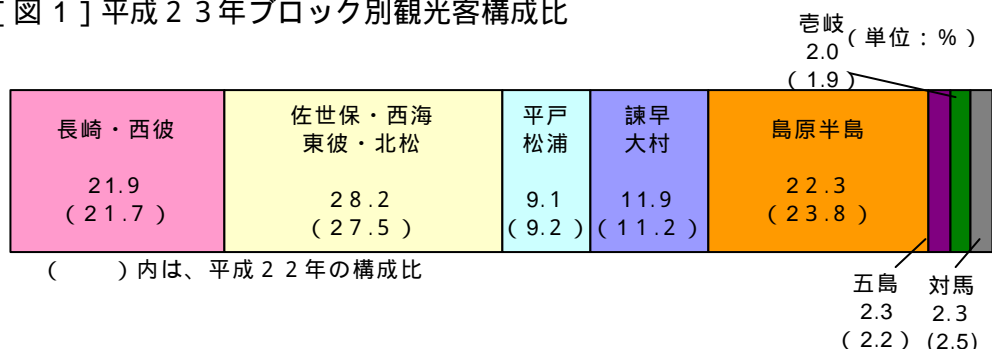
[表5] 地域ブロック別観光客数(観光客延べ数)

(単位：人、泊、%)

	観 光 客 延 べ 数					H22	H23-H22比較		
	日 帰 り 客 数	宿 泊 客 延 滞 在 数	延 宿 泊 数	宿 泊 客 実 数	平 均 観 光 客 宿 泊 数	観 光 客 延 べ 数	観 光 客 延 べ 数	増 減	前 年 比
県 計	18,192,167	9,832,859	5,611,996	4,220,863	1.33	28,025,026	29,100,913	1,075,887	3.7
長崎・西彼	3,560,001	2,571,209	1,463,236	1,107,973	1.32	6,131,210	6,309,798	178,588	2.8
佐世保・西海 東彼・北松	5,123,218	2,782,508	1,554,888	1,227,620	1.27	7,905,726	8,012,373	106,647	1.3
平戸・松浦	1,860,691	676,844	410,431	266,413	1.54	2,537,535	2,668,921	131,386	4.9
諫早・大村	2,474,484	867,574	460,089	407,485	1.13	3,342,058	3,271,951	70,107	2.1
島原半島	4,732,231	1,526,601	818,982	707,619	1.16	6,258,832	6,925,011	666,179	9.6
五 島	220,175	426,407	252,746	173,661	1.46	646,582	631,822	14,760	2.3
壱 岐	62,586	484,882	321,071	163,811	1.96	547,468	550,219	2,751	0.5
対 馬	158,781	496,834	330,553	166,281	1.99	655,615	730,818	75,203	10.3

図 1 によりブロック別構成比を見てみると、最も構成比が高かったのは、「佐世保・西海・東彼・北松ブロック」で、28.2%であった。
 構成比の減少幅が最も大きかったのは、島原半島ブロックで、前年比1.5ポイント減の22.3%となった。

[図 1] 平成 2 3 年ブロック別観光客構成比



(4) 外国人観光客の動向

外国人観光客は、3月に発生した東日本大震災の影響や、福島第一原子力発電所事故による風評被害、円高などの減少要因により、対前年30.4%減の502千人となった。

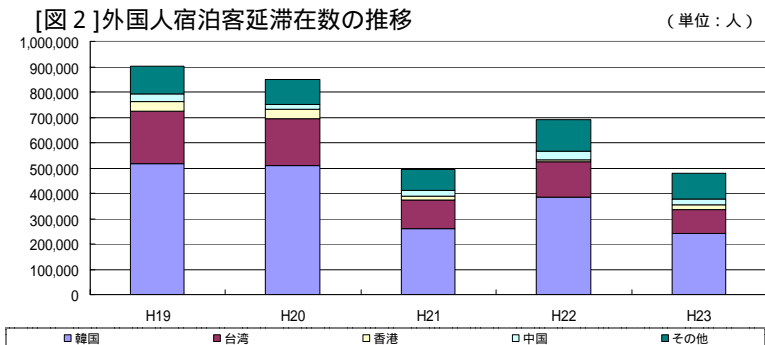
国・地域別に見ると、宿泊客数が多い順に韓国、台湾、米国、中国、香港の順となっている。外国人宿泊客の約半数を占める韓国については、東日本大震災の影響により、長崎 ソウル便(大韓航空)や、対馬 釜山間の高速船(大亜高速海運)が一時運休したことに加え、円高ウォン安が続いたことから、対前年37.8%減となった。

長崎港への国際観光船の入港についても、東日本大震災の影響により中止が相次ぎ、その後9月より徐々に再開されたが、乗船者数は過去最高を記録した昨年と比較すると、対前年51.6%減となった。

[表 6] 外国人宿泊客数

地 域	国・地域	H23			H22宿泊客延滞在数	対前年比 (%)
		宿泊客数	延滞客数	延滞客数		
ア ジ ア	中 国	181,445	219,532	400,977	599,058	33.1
	台 湾	9,241	12,624	21,865	34,982	37.5
	香 港	43,800	52,118	95,918	137,472	30.2
	韓 国	9,287	10,917	20,204	8,967	125.3
	シンガポール	109,629	130,752	240,381	386,182	37.8
	タ イ	2,526	3,670	6,196	7,472	17.1
	そ の 他	1,913	2,354	4,267	7,844	45.6
	そ の 他	5,049	7,097	12,146	16,139	24.7
ヨ ー ロ ッ パ		8,172	12,558	20,730	28,827	28.1
北 ア メ リ カ		15,513	35,384	50,897	48,503	4.9
	ア メ リ カ	14,044	33,273	47,317	46,064	2.7
南 ア メ リ カ		934	1,362	2,296	5,679	59.6
オ セ ア ニ ア		1,665	2,712	4,377	5,578	21.5
その他の国・地域		315	449	764	1,665	54.1
国 籍 不 明		9,767	12,437	22,204	32,038	30.7
合 計		217,811	284,434	502,245	721,348	30.4

[図 2] 外国人宿泊客延滞在数の推移



[表 7] 国際観光船入港実績(長崎港)推移

	H19	H20	H21	H22	H23
入 港 隻 数	41	27	48	44	19
乗 船 者 数	45,975	21,403	60,381	76,798	37,147

乗船者数は乗組員を含む

(5) 修学旅行宿泊客の動向

平成23年における修学旅行は、東日本大震災の発生に伴い、修学旅行先を西日本へ振り替える動きがみられるとともに、松浦の体験型観光による受け入れや、県・観光連盟・市町が一体となって行った集中的なセールス活動が奏功し、対前年11.3%増の483千人と大幅に増加した。

過去10年間の修学旅行宿泊客数は、平成19年までは減少傾向にあったものの、平成20年以降は増加に転じ、4年連続の増加となった。

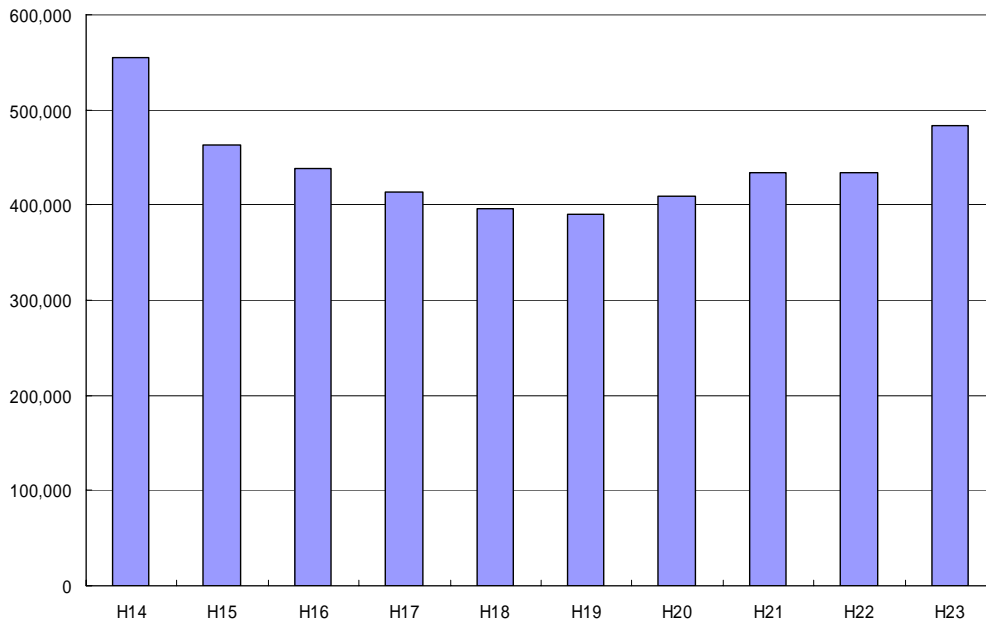
[表 8] 市町別修学旅行宿泊客数

(単位:人、%)

		平成21年	平成22年	平成23年	前年比
県	計	433,361	433,710	482,852	11.3
長	崎 市	291,300	293,100	327,800	11.8
佐	世 保 市	53,140	51,221	66,181	29.2
島	原 市	8,531	8,230	5,219	36.6
雲	仙 市	33,126	32,834	33,114	0.9
南	島 原 市		0	246	-
諫	早 市	5,274	4,696	6,122	30.4
大	村 市	0	551	680	23.4
平	戸 市	12,501	14,716	11,846	19.5
松	浦 市	14,536	14,232	19,323	35.8
五	島 市	3,440	1,599	1,652	3.3
新	上 五 島 町	85	526	309	41.3
壱	岐 市	9,177	8,200	7,900	3.7
川	棚 町	817	2,117	1,909	9.8
小	値 賀 町	1,246	1,688	551	67.4

[図 3] 市町別修学旅行宿泊客数の推移

(単位:人)



3. 長崎県の観光消費額の動向

平成23年の観光消費額

観光消費額 2,677億円（対前年1.3%減）

平成23年1月から12月まで

1人1日当たりの平均消費額 日帰り客 7,027円（対前年5.4%増）
 宿泊客 20,663円（対前年1.3%減）

一日一人当たりの平均消費額は、日帰り客で5.4%増と増加したものの、日帰り客数、宿泊客数がともに減少したため、観光消費額総額は対前年1.3%減（34億円）の2,677億円となった。

[表9]平成23年観光消費額（日帰り・宿泊別）

（単位：百万円、円、%）

	H22	H23	増減	対前年比
観光消費額	271,128	267,718	3,411	1.3
日帰り客	127,553	127,831	278	0.2
宿泊客	143,576	139,887	3,689	2.6
平均単価（円）＜一人一日あたりの平均消費額＞				
日帰り客	6,669	7,027	358	5.4
宿泊客	20,933	20,663	270	1.3

（注）平成22年は再算定後の数値である。

[表10]観光消費額の推移

（単位：%）

年	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
対前年比	2.2	3.5	5.7	0.1	2.2	2.3	1.5	6.9	2.6	1.3

(参考資料)平成23年市町別観光客数

(単位:人、泊、%)

区分 市町村	観光客延数						観光客実数								
	日帰り客数	宿泊客延滞在数	延宿泊数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延数	22年延数	前年比	増減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	22年実数	前年比
県計	18,192,167	9,832,859	5,611,996	4,220,863	1.33	28,025,026	29,100,913	3.7	1,075,887	4,324,003	6,240,981	11,848,046	22,413,030	23,386,663	4.2
長崎・西彼	3,560,001	2,571,209	1,463,236	1,107,973	1.32	6,131,210	6,309,798	2.8	178,588	365,440	358,120	3,944,414	4,667,974	4,823,715	3.2
佐世保・西海・東彼・北松	5,123,218	2,782,508	1,554,888	1,227,620	1.27	7,905,726	8,012,373	1.3	106,647	1,913,696	1,660,018	2,777,124	6,350,838	6,487,168	2.1
平戸・松浦	1,860,691	676,844	410,431	266,413	1.54	2,537,535	2,668,921	4.9	131,386	163,274	758,877	1,204,953	2,127,104	2,254,821	5.7
諫早・大村	2,474,484	867,574	460,089	407,485	1.13	3,342,058	3,271,951	2.1	70,107	1,149,446	1,364,371	368,152	2,881,969	2,818,060	2.3
島原半島	4,732,231	1,526,601	818,982	707,619	1.16	6,258,832	6,925,011	9.6	666,179	585,075	1,919,698	2,935,077	5,439,850	6,039,815	9.9
五島	220,175	426,407	252,746	173,661	1.46	646,582	631,822	2.3	14,760	72,635	116,794	204,407	393,836	379,886	3.7
苓岐	62,586	484,882	321,071	163,811	1.96	547,468	550,219	0.5	2,751	25,417	13,447	187,533	226,397	227,157	0.3
対馬	158,781	496,834	330,553	166,281	1.99	655,615	730,818	10.3	75,203	49,020	49,656	226,386	325,062	356,041	8.7
長崎市	3,415,400	2,529,300	1,439,100	1,090,200	1.32	5,944,700	6,108,300	2.7	163,600	274,900	306,400	3,924,300	4,505,600	4,648,300	3.1
長与町	60,015	0	0	0	-	60,015	69,927	14.2	9,912	26,695	22,866	10,454	60,015	69,927	14.2
時津町	84,586	41,909	24,136	17,773	1.36	126,495	131,571	3.9	5,076	63,845	28,854	9,660	102,359	105,488	3.0
佐世保市	2,993,400	2,540,862	1,401,462	1,139,400	1.23	5,534,262	5,600,250	1.2	65,988	1,503,100	796,500	1,833,200	4,132,800	4,243,000	2.6
西海市	892,849	107,675	64,958	42,717	1.52	1,000,524	1,014,671	1.4	14,147	96,695	315,269	523,602	935,566	945,238	1.0
東彼杵町	18,162	5,298	2,649	2,649	1.00	23,460	25,383	7.6	1,923	1,663	15,195	3,953	20,811	22,372	7.0
川棚町	303,481	126,013	84,484	41,529	2.03	429,494	459,635	6.6	30,141	37,606	199,071	108,333	345,010	365,870	5.7
波佐見町	768,626	2,570	1,285	1,285	1.00	771,196	755,744	2.0	15,452	165,632	297,983	306,296	769,911	754,048	2.1
佐々町	146,700	90	50	40	1.25	146,790	156,690	6.3	9,900	109,000	36,000	1,740	146,740	156,640	6.3
平戸市	1,309,200	570,584	342,351	228,233	1.50	1,879,784	1,917,949	2.0	38,165	61,527	632,323	843,583	1,537,433	1,563,066	1.6
松浦市	551,491	106,260	68,080	38,180	1.78	657,751	750,972	12.4	93,221	101,747	126,554	361,370	589,671	691,755	14.8
諫早市	1,637,789	693,408	367,923	325,485	1.13	2,331,197	2,243,451	3.9	87,746	636,690	1,112,979	213,605	1,963,274	1,872,560	4.8
大村市	836,695	174,166	92,166	82,000	1.12	1,010,861	1,028,500	1.7	17,639	512,756	251,392	154,547	918,695	945,500	2.8
島原市	1,163,590	292,068	187,943	104,125	1.80	1,455,658	1,541,920	5.6	86,262	57,286	162,721	1,047,708	1,267,715	1,334,711	5.0
雲仙市	2,313,950	1,139,170	581,099	558,071	1.04	3,453,120	3,964,693	12.9	511,573	228,803	1,251,245	1,391,973	2,872,021	3,343,001	14.1
南島原市	1,254,691	95,363	49,940	45,423	1.10	1,350,054	1,418,398	4.8	68,344	298,986	505,732	495,396	1,300,114	1,362,103	4.6
五島市	138,472	268,042	155,281	112,761	1.38	406,514	391,334	3.9	15,180	43,064	70,352	137,817	251,233	237,551	5.8
新上五島町	72,015	128,086	78,854	49,232	1.60	200,101	197,591	1.3	2,510	27,563	38,703	54,981	121,247	120,810	0.4
小値賀町	9,688	30,279	18,611	11,668	1.60	39,967	42,897	6.8	2,930	2,008	7,739	11,609	21,356	21,525	0.8
苓岐市	62,586	484,882	321,071	163,811	1.96	547,468	550,219	0.5	2,751	25,417	13,447	187,533	226,397	227,157	0.3
対馬市	158,781	496,834	330,553	166,281	1.99	655,615	730,818	10.3	75,203	49,020	49,656	226,386	325,062	356,041	8.7